

自立生活支援には「聞こえの保障」が欠かせません！

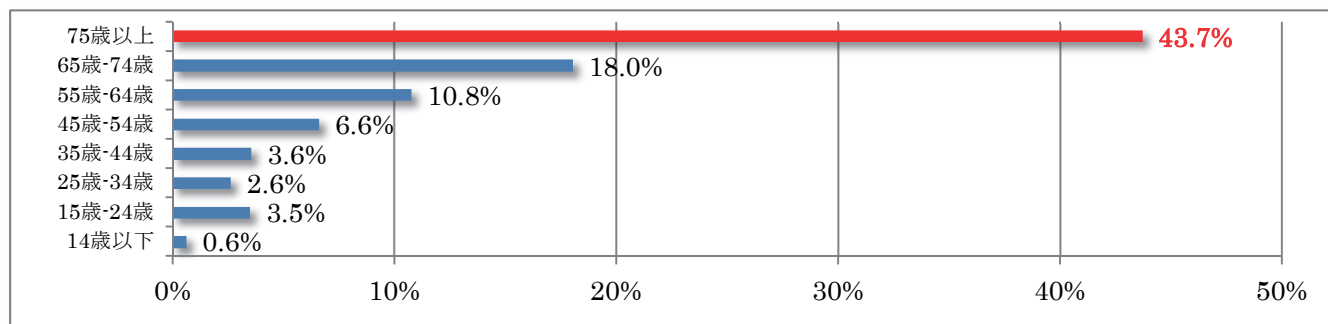
～補聴器による聞こえの保障を通じて個人の尊厳を守りましょう～

■ 多くの高齢者が「聞こえ」に不自由を感じています。

一般社団法人日本補聴器工業会が、2012年に実施した補聴器の使用に関する大規模調査の結果、回答者自身の聞こえについて、「難聴」もしくは「おそらく難聴である」と回答した人の年齢別の割合から、75才以上の回答者では、43.7%もの人が「難聴」もしくは「おそらく難聴である」と回答しています。

また、独立行政法人国立長寿医療研究センターの調査では、国内の65歳以上の高齢者のおよそ半数にあたる約1500万人もの方々に難聴があるとの推計値が出されています（日老医誌 2012；49：222-227）。

【表1】 聞こえづらさを感じている人の年齢別の割合

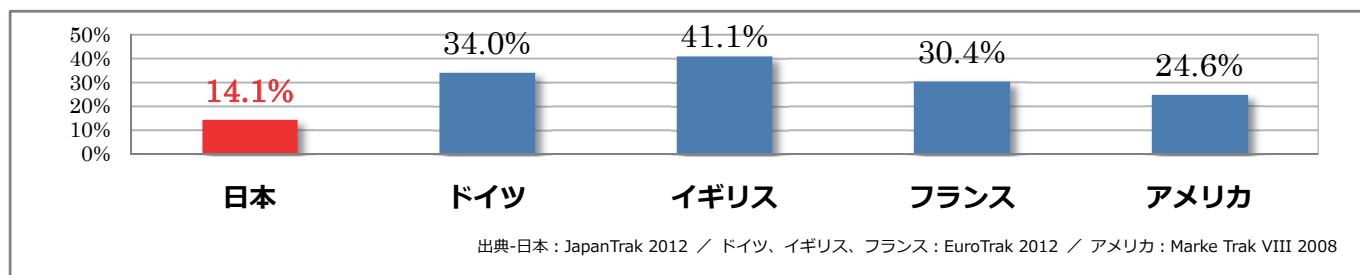


© Anovum 2012 - JapanTrak 2012

■ 介護現場での補聴器の使用による「聞こえの保障」について考えてみましょう。

日本国内の「補聴器使用率」は約14%と、諸外国に比べ非常に低い状況にあります。この要因として補聴器は「高額である」「小さくて取扱いが難しい」「つけても言葉がハッキリ聞こえない」「うるさい」など、マイナスの印象を持たれていることが考えられます。また、高齢者の介護現場においては、破損や紛失等への懸念から、サービス提供者側が補聴器の使用に積極的ではないといった現状もあるのではないのでしょうか。もちろん補聴器は万能ではなく、使用者の聴力や難聴の原因によっては、期待する効果が得られない可能性もあります。しかし、聴力の低下が起きやすい高齢期の方々に対する補聴器による「聞こえの保障」は、当事者の自立生活を支える上で重要です。また、介護現場において利用者とのコミュニケーションを充実させ、利用者の意思や意欲を的確に把握したサービスを提供することは、個人の尊厳を守ることにも繋がります。この機会に「聞こえの保障」の重要性をあらためて認識し、介護現場での補聴器の使用について考えてみましょう。

【表2】 日本と諸外国との「補聴器使用率」の比較



出典-日本：JapanTrak 2012 / ドイツ、イギリス、フランス：EuroTrak 2012 / アメリカ：Marke Trak VIII 2008

© Anovum 2012 - JapanTrak 2012

■ 補聴器を活用するには、「専門医の診断」と「個別の調整」が重要です。

補聴器を実際に使用している人の「満足度」に関する調査結果では、日本の全体的満足度は 36%と諸外国と比べ低い結果となっています。

【表 3】 補聴器使用者の「満足度」

	日本 ^{※2}	ドイツ ^{※2}	イギリス ^{※2}	フランス ^{※2}	アメリカ ^{※2}
全体的満足度 ^{※1}	36%	77%	72%	80%	74%

※1『全体的満足度』=大変満足・満足・やや満足と回答した方の合計 ※2 出典-日本：JapanTrak 2012/ドイツ、イギリス、フランス：EuroTrak 2012/アメリカ：Marke Trak VIII 2008

補聴器使用者の「満足度」を上げるには、補聴器を使用することで聞こえが改善されたと使用者が実感できることが大切です。ただし、難聴は「疾患」であり、補聴器は聞こえを補うための「医療機器」です。補聴器を効果的に活用するためには、耳鼻咽喉科専門医により、難聴の種類や聞こえの程度、治療が可能かどうか等について診断を受け、ご自身の難聴について正しく理解する事が重要になります。耳鼻咽喉科専門医への受診については、一般社団法人日本耳鼻咽喉科学会が委嘱する、『補聴器相談医』による診察を受けることが望ましいとされています。なお、『補聴器相談医』の所属する医療機関は、同学会のホームページに公開されています。

また、聞こえの状態は個々人で異なりますので、補聴器を効果的に活用するには、使用者に合わせて個別に調整（フィッティング）を行うことも重要になります。公益財団法人テクノエイド協会では、補聴器の調整に関する知識を持った『認定補聴器技能者』と補聴器の調整に必要な「設備」と「人的要件」が整った『認定補聴器専門店』を認定しております。

『認定補聴器技能者』は、補聴器の調整等に関する約 92 時間の養成課程を履修し、最終試験に合格した者が取得できる資格で、資格取得後は『補聴器相談医』の診断・指導に基づいて補聴器の販売業務に従事します。

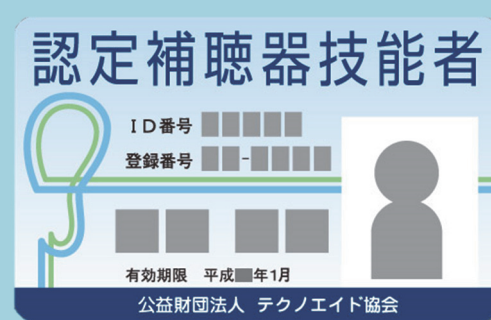
『認定補聴器専門店』は、「補聴器の調整に必要な設備要件」「認定補聴器技能者資格取得者の常勤」「補聴器相談医との連携」等、当協会が定める業務運営基準を満たしていると認められた補聴器販売店です。

補聴器の購入にあたっては、『認定補聴器専門店』あるいは『認定補聴器技能者』の在籍する補聴器販売店へ是非ご相談ください。

《認定補聴器専門店認定プレート》



《認定補聴器技能者 ID カード》



『認定補聴器専門店』『認定補聴器技能者』に関する情報は、当協会のホームページ【<http://www.techno-aids.or.jp/>】に公開されています。

【お問い合わせ先】

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1-1 セントラルプラザ 4F
公益財団法人テクノエイド協会 試験研修部
03-3266-6882 (直通) 03-3266-6881 (FAX専用)